

令和6年度

年間授業計画

第三学年



東京都立大島高等学校

〒100-0101
東京都大島町元町字八重の水127

TEL: 04992 (2) 1431

FAX: 04992 (2) 2461

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科： 国語 科目： 論理国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 2 組～ 3 組

教科担当者： （ 2組：下川 （ 3組：市川

使用教科書： （ 論理国語 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。

【学びに向かう力、人間性等】伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。	文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語・文	書	読					
1 学 期	世界を広げる「批評」の言葉 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 筆者の主張する「書く、読む」力を理解する。筆者の考える批評を理解する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	○	○	○	○	26
	ミロのヴィーナス 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 疑問点不明点を調査する 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 筆者の主張する「手」が暗示するものを理解する。この像が手を失うことの意味を理解する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	○	○	○	○	
	定期考査					○	○		
	家族化するベット 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 主張根拠の妥当性を考える 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 教科書のグラフを読み取り、推移を理解し、言語化する。筆者の主張根拠の妥当性を考える。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	○	○	○	○	
	人工知能の可能性と異 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 客観的認識は原理的にあり得ないのはなぜか説明できる。人間の定義を話し合う。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	○	○	○	○	
2 学 期	敬語への自覚、他者への自覚 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 資料と比較し考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 「若者言葉」「特殊な方言」の例を話し合う。グラフから読み取ったことを文章化する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	○	○	○	○	26
	スキーマと記憶 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 本文中のあるグループについて、存在意義を考え、説明する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	○	○	○	○	
	分かち合う社会 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 本文中のあるグループについて、存在意義を考え、説明する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	○	○	○	○	
3 学 期	世界は、いま 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 調べ学習と発表を通して考えたことをもとに、グローバル化について話し合う。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	○	○	○	○	18
	コミュニティから見た日本 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 調べ学習と発表を通して考えたことをもとに、グローバル化について話し合う。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	○	○	○	○	
合計									70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 2組～3組
 教科担当者：（A組：下川 （B組：栗山 （C組：市川 ）
 使用教科書：（古典探究 ）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。
 【学びに向かう力、人間性等】伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。	文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	書	読					
1 学期	山月記 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 読解内容を地図を用いて説明する。 動詞形容詞への理解を深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○			○	○	26
	山月記 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 和歌の内容と修辭法の効果を理解し説明する。品詞分解を知り、理解を深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○			○	○	
	定期考査			○			○	○	
	人虎伝 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や比喩表現を理解し説明する。漢文訓読への理解を深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○			○	○	
	源氏物語 桐壺 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 筆者の主張と無常観を理解し説明する。読解内容を地図を用いて説明する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○			○	○	
2 学期	源氏物語 若紫 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 物語の特色を理解させる。読解内容を踏まえて、敬語を現代語訳する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○			1	26	
	源氏物語 葵 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や比喩表現を理解し説明する。漢文訓読への理解を深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○					
3 学期	源氏物語 須磨 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や敬語表現を理解し説明する。物語文学への理解を深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○				18	
	源氏物語 須磨 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や敬語表現を理解し説明する。日記文学への理解を深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○					
合計									70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 読解と表現

教科：国語 科目：読解と表現 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 1組～ 組
 教科担当者：（組：栗山）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（大修館書店『国語表現』）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】 言語にたいして多様な生活に必要な場面について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。
 【思考力、判断力、表現力等】 場面ごとの生活場面における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】 異文化への理解を深めるとともに、異国語を尊重し、我が国の言語文化の魅力を伝える態度をもち、生活にたけり関わりを通してその能力の上を高める態度を養う。

科目 読解と表現 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
語彙を豊かにする・表記を正しく行う	伝え合う力・思考力・想像力を伸ばす	国語の向上・社会生活の充実を図る態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	感	配当 時数
		言語	書誌					
1 学期	単元 言葉で遊ぶ 【知識及び技能】 正しい表記の理解・語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 伝え合う力・思考力・想像力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 国語の向上・社会生活の充実を図る態度を養う	指導事項 様々な言葉遊び 教材 教科書・準拠問題集 その他 1人1台端末の活用	○	知識及び技能 語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている 思考力、判断力、表現力等 伝えたいことを明確にしている 学びに向かう力・人間性等 意欲的に取り組もうとしている	○	○		
	単元 言葉と出会う 【知識及び技能】 正しい表記の理解・語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 伝え合う力・思考力・想像力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 国語の向上・社会生活の充実を図る態度を養う	指導事項 文法事項の理解 教材 教科書・準拠問題集 その他 1人1台端末の活用	○	知識及び技能 語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている 思考力、判断力、表現力等 伝えたいことを明確にし、表現の仕方に工夫がされている 学びに向かう力・人間性等 意欲的に取り組もうとしている	○	○		
	定期考査				○			
	単元 伝える・伝える 【知識及び技能】 正しい表記の理解・語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 伝え合う力・思考力・想像力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 国語の向上・社会生活の充実を図る態度を養う	指導事項 表現の特色と役割についての理解 教材 教科書・準拠問題集 その他 1人1台端末の活用	○	知識及び技能 表現の特色と役割の理解 思考力、判断力、表現力等 伝えたいことを明確にし、表現の仕方に工夫がされている 学びに向かう力・人間性等 意欲的に取り組もうとしている	○	○		26
	定期考査				○			
2 学期	単元 自己PRと面接 【知識及び技能】 正しい表記の理解・語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 伝え合う力・思考力・想像力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 国語の向上・社会生活の充実を図る態度を養う	指導事項 自己分析を通して把握した自己の長所等を他者に分かりやすく伝える 教材 教科書・準拠問題集 その他 1人1台端末の活用	○	知識及び技能 表現の特色と役割の理解 思考力、判断力、表現力等 伝えたいことを明確にし、表現の仕方に工夫がされている 学びに向かう力・人間性等 意欲的に取り組もうとしている	○	○		
	定期考査				○			
	単元 小論文 【知識及び技能】 正しい表記の理解・語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 伝え合う力・思考力・想像力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 国語の向上・社会生活の充実を図る態度を養う	指導事項 小論文の基本的な書き方の理解 教材 教科書・準拠問題集 その他 1人1台端末の活用	○	知識及び技能 表現の特色と役割の理解 思考力、判断力、表現力等 伝えたいことを明確にし、表現の仕方に工夫がされている 学びに向かう力・人間性等 意欲的に取り組もうとしている	○	○		
	定期考査				○			
	単元 会議・発表 【知識及び技能】 正しい表記の理解・語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 伝え合う力・思考力・想像力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 国語の向上・社会生活の充実を図る態度を養う	指導事項 場面に応じた適切な言葉遣い、表現 教材 教科書・準拠問題集 その他 1人1台端末の活用	○	知識及び技能 表現の特色と役割の理解 思考力、判断力、表現力等 伝えたいことを明確にし、表現の仕方に工夫がされている 学びに向かう力・人間性等 意欲的に取り組もうとしている	○	○		26
3 学期	単元 メディアの駆使 【知識及び技能】 正しい表記の理解・語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 伝え合う力・思考力・想像力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 国語の向上・社会生活の充実を図る態度を養う	指導事項 様々な通信方法の形式の理解 教材 教科書・準拠問題集 その他 1人1台端末の活用	○	知識及び技能 メディアの特色と役割の理解 思考力、判断力、表現力等 伝えたいことを明確にし、表現の仕方に工夫がされている 学びに向かう力・人間性等 意欲的に取り組もうとしている	○	○		
	定期考査				○			
	単元 表現を楽しむ 【知識及び技能】 正しい表記の理解・語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 伝え合う力・思考力・想像力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 国語の向上・社会生活の充実を図る態度を養う	指導事項 随筆執筆等言語活動 教材 教科書・準拠問題集 その他 1人1台端末の活用	○	知識及び技能 表現の特色と役割の理解 思考力、判断力、表現力等 伝えたいことを明確にし、表現の仕方に工夫がされている 学びに向かう力・人間性等 意欲的に取り組もうとしている	○	○		
	定期考査				○			
	合計							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習

教科：国語

科目：古典演習

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 2組～3組

教科担当者：下川

使用教科書：（古典演習）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。

【学びに向かう力、人間性等】伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

科目 古典演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。	文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・朗	書	読					
1 学期	随筆 枕草子 うれしきもの 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 読解内容を地図を用いて説明する。 動詞形容詞への理解を深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	26
	随筆 枕草子 虫は 二月つごもり 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 和歌の内容と修辭法の効果を理解し 説明する。品詞分解を知り、理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
	定期考査		○			○	○		
	堤中納言物語 虫めづる姫君 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や比喻表現を理 解し説明する。漢文訓読への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
	大鏡 三船の才 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 筆者の主張と無常観を理解し説明す る。読解内容を地図を用いて説明す る。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
定期考査		○			○	○			
2 学期	蜻蛉日記 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 物語の特色を理解させる。読解内容 を踏まえて、歌語を現代語訳する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	26
	和泉式部日記 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や比喻表現を理 解し説明する。漢文訓読への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
3 学期	古事記 海幸山幸 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や歌語表現を理 解し説明する。物語文学への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	18
	源氏物語 須磨 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や歌語表現を理 解し説明する。日記文学への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
合計									70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科：地理歴史 科目：世界史演習 単位数：2 単位
 授業科目：第3学年 組： 組
 教科担当者：（ 山口 ）
 使用教科書：（ ）

【知識及び技能】
 世界史を学ぶ意義や歴史の重要性について、地理的・社会的背景を踏まえ、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や意義を考察する能力を育成する。
 【思考力、判断力、表現力等】
 歴史的事象を多角的に考察し、その背景や意義を踏まえ、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や意義を考察する能力を育成する。
 【学びに向かう力、人間性等】
 歴史的事象を多角的に考察し、その背景や意義を踏まえ、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や意義を考察する能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や意義を考察する能力を育成する。	歴史的事象を多角的に考察し、その背景や意義を踏まえ、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や意義を考察する能力を育成する。	歴史的事象を多角的に考察し、その背景や意義を踏まえ、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や意義を考察する能力を育成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	感	総評 総時数	
1 年 次	産業革命と大規模な社会変革 ①産業革命 ②アメリカ合衆国の成立と発展 ③フランス革命とナポレオンの支配 ④南米大陸の独立	【知識・技能】 産業革命の歴史的背景やそのメカニズムがもたらした社会や経済的変革の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 産業革命の歴史的背景やそのメカニズムがもたらした社会や経済的変革の経緯を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命の歴史的背景やそのメカニズムがもたらした社会や経済的変革の経緯を理解する。			12	
	①アメリカ合衆国の成立と発展 ②フランス革命とナポレオンの支配 ③南米大陸の独立	【知識・技能】 アメリカ合衆国の成立やフランス革命の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 アメリカ合衆国の成立やフランス革命の経緯を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 アメリカ合衆国の成立やフランス革命の経緯を理解する。	○	○	12	
1 年 次	イギリスとフランスとドイツの歴史 ①イギリスとフランスの歴史 ②ドイツの歴史 ③アメリカ合衆国の歴史 ④ヨーロッパの歴史	【知識・技能】 イギリスとフランスとドイツの歴史の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 イギリスとフランスとドイツの歴史の経緯を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 イギリスとフランスとドイツの歴史の経緯を理解する。			1	
	①イギリスとフランスの歴史 ②ドイツの歴史 ③アメリカ合衆国の歴史 ④ヨーロッパの歴史	【知識・技能】 イギリスとフランスとドイツの歴史の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 イギリスとフランスとドイツの歴史の経緯を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 イギリスとフランスとドイツの歴史の経緯を理解する。	○	○	12	
2 年 次	アジア諸地域の発展 ①東アジアの歴史 ②東南アジアの歴史 ③南アジアの歴史	【知識・技能】 東アジア、東南アジア、南アジアの歴史の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 東アジア、東南アジア、南アジアの歴史の経緯を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア、東南アジア、南アジアの歴史の経緯を理解する。			1	
	①東アジアの歴史 ②東南アジアの歴史 ③南アジアの歴史	【知識・技能】 東アジア、東南アジア、南アジアの歴史の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 東アジア、東南アジア、南アジアの歴史の経緯を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア、東南アジア、南アジアの歴史の経緯を理解する。	○	○	12	
2 年 次	西洋諸国の発展 ①第一次産業革命と市民革命 ②第二次産業革命と市民革命 ③第三次産業革命と市民革命	【知識・技能】 西洋諸国の歴史の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 西洋諸国の歴史の経緯を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 西洋諸国の歴史の経緯を理解する。			1	
	①第一次産業革命と市民革命 ②第二次産業革命と市民革命 ③第三次産業革命と市民革命	【知識・技能】 西洋諸国の歴史の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 西洋諸国の歴史の経緯を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 西洋諸国の歴史の経緯を理解する。	○	○	12	
3 年 次	第一次世界大戦と第二次世界大戦 ①第一次世界大戦 ②第二次世界大戦 ③アジア・アフリカ地域の歴史	【知識・技能】 第一次世界大戦と第二次世界大戦の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦と第二次世界大戦の経緯を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦と第二次世界大戦の経緯を理解する。			1	
	①第一次世界大戦 ②第二次世界大戦 ③アジア・アフリカ地域の歴史	【知識・技能】 第一次世界大戦と第二次世界大戦の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦と第二次世界大戦の経緯を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦と第二次世界大戦の経緯を理解する。	○	○	17	
まとめ					1	
					合計	20

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教科： 地理歴史 科目： 日本史演習

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 2 組～ 3 組

教科担当者：（自選： 沢田） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書：（ 山川出版社 日本史探究 高校日本史 ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して深められる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して深められる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	原始・古代	・振り返り ・一人1台端末の活用 ・問題演習	【知】 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立、古墳時代や飛鳥時代の特色など、基礎的基本的事項を理解している。 【思】 原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取り、表現する。 【主】 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、表現する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	中世	・振り返り ・一人1台端末の活用 ・問題演習	【知】 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容、武家政権の成立と展開など、基礎的基本的事項を理解している。 【思】 中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取り、表現する。 【主】 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、表現する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学期	近世	・振り返り ・一人1台端末の活用 ・問題演習	【知】 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係、幕藩体制の確立の特色など、基礎的基本的事項を理解している。 【思】 近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取り、表現する。 【主】 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、表現する活動に主体的に取り組む。				12
	定期考査			○	○		1
	近代	・振り返り ・一人1台端末の活用 ・問題演習	【知】 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立、明治維新、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定など、基礎的基本的事項を理解している。 【思】 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取り、表現する。 【主】 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、表現する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	12
定期考査						1	
3 学期	総合演習					18	
						合計 70	

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学
学年：第3学年 1組～3組
教科書：(1,2)組 教科書
使用教科書：(新編)化学

【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

Table with 3 columns: 教科 理科, 科目 化学, 内容. It details learning objectives for the chemistry course.

Main table with 5 columns: 単元の具体的な学習目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知 恵 意, 配分 時数. It lists 20 units of study, including topics like atomic structure, chemical reactions, and organic chemistry, with their respective learning goals and assessment criteria.

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教科：理科

科目：生物

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：（組：名古屋

使用教科書：（東京書籍 生物

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	生物の進化	・問題演習 ・発表	様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解しているか。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解できているか。	○	○	○	13
	生命現象と物質	・問題演習 ・発表	生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解できているか。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解できているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	遺伝情報の発現と発生	・問題演習 ・発表	DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解できているか。	○	○	○	13
	生物の環境応答	・問題演習 ・発表	生物の環境応答資料に基づいて、生物の刺激に対する応答について生理学的に理解する。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	生態と環境	・問題演習 ・発表	①生態系と生物の多様性に関する観察、実験を行い、生態系における生物の種多様性を見出して理解できているか。また、生物種多様性と生物間の関係性を関連付けて理解できているか。 ②生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解できているか。また、生態系の保全の重要性を認識できているか。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	大学入試問題対策	・問題演習 ・発表	今まで身に付けてきた知識を用いて自ら考え、問題演習に	○	○	○	25
定期考査			○	○		1	
3 学期	大学入試問題対策	・問題演習 ・発表	今まで身に付けてきた知識を用いて自ら考え、問題演習に	○	○	○	36
						合計	
							140

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 体育 科目 スポーツVI

教科： 体育 科目： スポーツVI 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 自由選択

教科担当者： 中谷

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

教科 体育 の目標：

【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツVI の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
スポーツVIを多様に実践するための事項を理解している。スポーツVIを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解していること。スポーツVIを多様に実践するための運動の行い方を身に付けている。地域社会での活動などの目的に応じた企画や運営ができる。	発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間と伝えている。・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともにスポーツVIを楽しむための調整の仕方を見付けている。・スポーツVIを行う際には、参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画したり、自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてのよりよい改善点を指摘したりしている。多様（目的、年齢、性別、経験、障害の有無など）な参加者と共に運動するための調整の仕方や運営方法を提案している。	協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲的に取り組もうとしている。多様性・共生などのスポーツを通して共生社会の実現に寄与する学習に意欲的に取り組もうとしている。地域への参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に意欲的に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 ○体づくり運動への多様な関わり方を理解し、実践する	スポーツVIを多様に実践するための運動の行い方 ・仲間と学びあう場面で、動きの見本や効果的な行い方のポイントを身体及び言語化した他者への表現 ・危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当 ・体力の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーの実践 ・地域社会での活動などの目的に応じた企画や運営	体づくり運動に関連して高まる体力やその高め方、学習する運動に関する行い方やその学び方 運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方、仲間と継続的に活動するための調整の仕方、地域社会での活動における参加の仕方や運営方法、初歩的な指導法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの多様な関わり方を実践するための事項を理解して実践している 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力や生活に応じて継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができている	○	○	○	26
2 学期 ○目的に応じた心身の気付きや交流を深めるための運動の仕方を理解し実践する	のびのびとした動作で用具などを用いた運動、リズムに乗って心が弾むような運動 緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動 いろいろな条件で歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 仲間と協力して課題を達成するなど集団で挑戦するような運動 扱いやすい用具や動きやすいリズムに変えたり、みんなができる運動にしたりするなどして、多様な楽しさに触れることができるような活動	目的に応じた心身の気付きや交流を深めるための運動の仕方では、体づくり運動のうち、主に体ほぐしの運動の学習から、自らの実践を深めたり、他者と実践したりすることができる	○	○	○	26
3 学期 ○ライフステージ及びライフスタイルに応じた体操や運動の計画の立て方を理解し、実践する	ライフステージの各段階や生活の仕方に応じたライフスタイル それぞれに応じた体操や運動の計画 異なるライフステージやライフスタイルに応じた体操や運動の計画を提案 家族や仲間、高齢者などを想定して、他者の体力や生活の状況等に応じた運動の計画を立てることを通して、ライフステージやライフスタイルに応じた運動の計画の立て方	ライフステージ及びライフスタイルに応じた体操や運動の計画の立て方では、体づくり運動のうち、主に実生活に生かす運動の計画の学習から、自らの実践を深めたり、他者と実践したりすることができる	○	○	○	18
						合計
						70

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 組

教科担当者：旭 仁也

使用教科書：（ 日本文教出版 高校生の美術 I ）

教科 芸術科 美術 の目標：授業を通して美術の事を好きになる。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 美術 I の目標：多様な表現の基礎を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	作品を通して何を考え、何を伝えようとし、どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ ・ 映	鑑 賞					
1 学 期 内容：陶芸 目標：作品制作を通じて、用の美の世界を体験する。 内容：色彩構成 目標：単純化した色面で、自分の思考を表現する。	粘土を成形し、器を制作する。自然に対する愛着を感じ、普段使いの陶器の成り立ちを知る。万物を大切に扱う心を養う。	○		○	知：粘土の可変的な造形性を体得し、ヘラや弓などの道具を活用して、作品制作している。 思：回転するろくろに置かれた粘土から、物の理を感じる事ができる。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	12
	テーマから発想構想し、イメージを単純な幾何形体に置き換え、構成する。 デ・サインの定義を知る。		○		○	知：アクリル絵の具を活用して、ムラなく混色し、丁寧で均質に着色する事ができる。 思：自分の求めるイメージを目指して、思考し、単純化した形態を構成して、具現化している。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○
2 学 期 内容：写真表現 目標：多様な視点や価値観があることを知る。 内容：素描 目標：カッターを用いて鉛筆を削れるようになる。鉛筆で絵を描く。	スマホを活用して、写真表現の入り口に立つ。 世の中の見かた、見え方は単一ではなく多様性に溢れている。			○	知：デジタル表現をアナログ表現に転換する事ができる。 思：自分の追い求める作品を目指して、思考し、判断し、表現しようとしている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	12
	鉛筆の基本的な使い方を覚える。 描く対象を深く観察する。 かの人は言った「見よ、そして見よ」と。		○		○	知：カッターナイフの握り方や使い方を理解し、素描に適した形に鉛筆を削る事ができる。 思：モチーフを観察し、鉛筆画で表現しようとしている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○
3 学 期 内容：水彩画 目標：水彩色鉛筆や水彩絵の具を用いて、色彩表現に触れ、理解を深める。 内容：卒業制作	色彩の魅力に触れる、感じる。 画用紙に色彩の広がりを生み出す。 世の中は様々な色があることを知り、それを尊重する心を養う。	○		○	知：適切な水分量で絵の具を溶き、筆で描画する事ができる。 思：にじみやぼかし、かすれなどの多様な表現を作品制作に取り入れている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	10
	鉛筆の基本的な使い方を覚える。 描く対象を深く観察する。 かの人は言った「見よ、そして見よ」と。		○		○	知：カッターナイフの握り方や使い方を理解し、素描に適した形に鉛筆を削る事ができる。 思：モチーフを観察し、鉛筆画で表現しようとしている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○
									合計
									70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 外国語 科目 発展英語B

教科: 外国語 科目: 発展英語B 単位数: 4 単位

対象学年組: 第3学年 1組~3組

教科担当者: (Aクラス:青木)

使用教科書: (数研出版 BIG DIPPER II)

教科 外国語

の目標:

【知識及び技能】 新出単語や熟語を、使用される状況下に応じた適切な訳で読み取り、またそれを用いて表現できる。様々な国の人の発話やスベルが混在する本文を適切に関き取り、読み取ることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 広告・評論文・データ情報や物語などを読んで適切な情報を読み取り、整理・要約することができる。またそれに対して自分の意見を表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、真摯に相手の伝えようとする姿勢に向き合い、対話・意見論述等に積極的に参加することができる。

科目 発展英語B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
新出単語や熟語を、使用される状況下に応じた訳で読み取ったり、適切に本文を聞き取ったりすることができる。また自分ことや意見などを適切に表現することができる。	広告・評論文・データ情報や物語などを読んで適切な情報を読み取り、整理・要約することができる。またそれに対して自分の意見を表現することができる。	多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、真摯に相手の伝えようとする姿勢に向き合い、対話・意見論述等に積極的に参加することができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	感	記 時 数	
		聞	読	話 (書 き)	書						
1 学 期	Lesson1 【知識及び技能】 海外の学校行事について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学校行事その目的について意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学校行事について積極的に表現しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk 教材 ターゲット1900 Nextstage 高校英語まるまるリスニング 英文読解トレ	○	○	○	○				○	12
	Lesson2 【知識及び技能】 だまし絵について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 だまし絵アートについて自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 だまし絵について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk 教材 ターゲット1900 Nextstage 高校英語まるまるリスニング 英文読解トレ		○	○	○				○	12
	定期考査									○	1
	Lesson3 【知識及び技能】 睡眠の大切さについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 睡眠の重要性と良い睡眠をとる方法について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 良い睡眠をとる方法、自身の睡眠の実態について積極的に表現しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk 教材 ターゲット1900 Nextstage 高校英語まるまるリスニング 英文読解トレ	○	○	○	○				○	13
2 学 期	Lesson4 【知識及び技能】 国際共通語について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際共通語について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際共通語について積極的に自分の考えを積極的に伝え合おうとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk 教材 ターゲット1900 Nextstage 高校英語まるまるリスニング 英文読解トレ	○	○	○	○				○	13
	定期考査									○	1
	Lesson5 【知識及び技能】 ユニバーサルデザインについて理解し、情報を整理しまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニバーサルデザインについて理解し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ユニバーサルデザインについて積極的に自分の考えを伝えあう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk 教材 ターゲット1900 Nextstage 高校英語まるまるリスニング 英文読解トレ	○	○	○	○				○	12
	Lesson6 【知識及び技能】 若宮さんの活動について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 若宮さんの活動について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 若宮さんの活動について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk 教材 ターゲット1900 Nextstage 高校英語まるまるリスニング 英文読解トレ	○	○	○	○				○	12
3 学 期	定期考査									○	1
	Lesson7 【知識及び技能】 飛行機の開発史について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 飛行機の開発史について、自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 飛行機の開発史について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk 教材 ターゲット1900 Nextstage 高校英語まるまるリスニング 英文読解トレ	○	○	○	○				○	13
	Lesson8 【知識及び技能】 保存食について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 保存食について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 保存食について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk 教材 ターゲット1900 Nextstage 高校英語まるまるリスニング 英文読解トレ	○	○	○	○				○	13
	定期考査									○	1
3 学 期	Lesson9 【知識及び技能】 シェアリングエコノミーについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 シェアリングエコノミーについて自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 シェアリングエコノミーについて積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk 教材 ターゲット1900 Nextstage 高校英語まるまるリスニング 英文読解トレ	○	○	○	○				○	18
	Lesson10 【知識及び技能】 砂の輸入問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 砂の輸入問題について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 砂の輸入問題について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk 教材 ターゲット1900 Nextstage 高校英語まるまるリスニング 英文読解トレ	○	○	○	○				○	18

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 商業 科目 情報処理

教科：商業 科目：情報処理 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組～3組

教科担当者：（野村）

使用教科書：（最新情報処理 新訂版（実教出版））

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】情報に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、情報社会の一員としての望ましい心構えについて理解してい

【思考力、判断力、表現力等】情報処理について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、情報を処理する者として適切に判断し

【学びに向かう力、人間性等】情報社会について関心を持ち、情報処理の諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに

科目 情報処理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、情報社会の一員としての望ましい心構えについて理解している。	情報処理について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、情報を処理する者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	情報社会について関心を持ち、情報処理の諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	コンピュータの基本的な仕組みについて学習する。表計算ソフトの基本操作を学習する。表計算ソフトを活用して、ビジネスにかかわる関数を学習する。 日本情報処理検定協会主催の表計算を受検し、3級以上合格を目指す	・ビジネスと表計算ソフト 基本関数の学習 基本グラフの学習 ・ビジネスと表計算ソフト 文字列関数とデータベース関数の学習	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	10
	コンピュータの基本的な仕組みについて学習する。表計算ソフトの基本操作を学習する。表計算ソフトを活用して、ビジネスにかかわる関数を学習する。 日本情報処理検定協会主催の表計算を受検し、3級以上合格を目指す	・ビジネスと表計算ソフト 基本関数の復習 複雑なグラフの学習	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	コンピュータの基本的な仕組みについて学習する。表計算ソフトの基本操作を学習する。表計算ソフトを活用して、ビジネスにかかわる関数を学習する。 日本情報処理検定協会主催の表計算を受検し、3級以上合格を目指す	・ビジネスと表計算ソフト 文字列関数とデータベース関数の学習	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	12
	コンピュータの基本的な仕組みについて学習する。表計算ソフトの基本操作を学習する。表計算ソフトを活用して、ビジネスにかかわる関数を学習する。 日本情報処理検定協会主催の表計算を受検し、3級以上合格を目指す	・情報処理検定過去問題演習 ・上記検定試験受験指導	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学 期	ワープロソフトの基本操作を学習する。ワープロソフトで通信文書、デザイン文書を作成できるようにする。 日本情報処理検定協会主催の日本語ワープロ3級以上合格を目指す。	・ビジネスとワープロソフト 社外文書の学習 ・日本語ワープロ検定過去問題演習	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	ワープロソフトの基本操作を学習する。ワープロソフトで通信文書、デザイン文書を作成できるようにする。 日本情報処理検定協会主催の日本語ワープロ3級以上合格を目指す。	・ビジネスとワープロソフト 社外文書の学習 ・日本語ワープロ検定過去問題演習 ・上記検定試験受験指導	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学 期	プレゼンテーションソフトの基本操作を学習する。プレゼンテーションを通してコミュニケーション能力と問題解決能力を鍛える。	プレゼンテーションソフトの学習 傾聴スキルの学習 プレゼンテーションによる他社評価	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	18
	プレゼンテーションソフトの基本操作を学習する。プレゼンテーションを通してコミュニケーション能力と問題解決能力を鍛える。	プレゼンテーションソフトの学習 傾聴スキルの学習 プレゼンテーションによる他社評価	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
						合計	140

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 商業 科目 ビジネス基礎

教科: 商業 科目: ビジネス基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 2 組 ~ 3 組

教科担当者: (野村)

使用教科書: (ビジネス基礎 新訂版 (実教出版))

教科 商業 の目標:

【知識及び技能】ビジネスに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネス(

【学びに向かう力、人間性等】ビジネスについて関心をもち、ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとすると、

科目 ビジネス基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	ビジネスについて関心をもち、ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ビジネスに関する知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させる。流通を中心としたビジネス活動に適切に対応できる能力と態度を育てる。	経済と流通の基礎 経済のしくみとビジネス	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	5
	ビジネスに関する知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させる。流通を中心としたビジネス活動に適切に対応できる能力と態度を育てる。	社会の変化とビジネスの発展 流通活動と流通	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	ビジネスに関する知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させる。流通を中心としたビジネス活動に適切に対応できる能力と態度を育てる。	ビジネスの担い手 ものの生産者	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	6
	ビジネスに関する知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させる。流通を中心としたビジネス活動に適切に対応できる能力と態度を育てる。	ものの生産者 サービスの生産者	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
2 学 期	ビジネスに関する知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させる。流通を中心としたビジネス活動に適切に対応できる能力と態度を育てる。	小売業 卸売業者 物流業者 金融業 情報通信業	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	ビジネスに関する知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させる。流通を中心としたビジネス活動に適切に対応できる能力と態度を育てる。	企業活動の基礎 ビジネスと企業 資金調達 企業活動と税	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学 期	ビジネスに関する知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させる。流通を中心としたビジネス活動に適切に対応できる能力と態度を育てる。	企業活動の基礎 雇用 企業倫理 ビジネスと売買取引	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	8
	ビジネスに関する知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させる。流通を中心としたビジネス活動に適切に対応できる能力と態度を育てる。	企業活動の基礎 雇用 企業倫理 ビジネスと売買取引	・模擬試験の結果 ・授業への積極的参加 ・提出物 ・出席状況	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	合計						

高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科 商業 科目 簿記検定

教科: 商業 科目: 簿記検定 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 2 組 ~ 3 組

教科担当者: (野村)

使用教科書: (原価計算 (実教))

教科 商業 の目標:

【知識及び技能】原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、製造業における諸活動を計数的に把握し、

【思考力、判断力、表現力等】個別原価計算・総合原価計算・標準原価計算・直接原価計算のそれぞれの特徴と適用される生産形態につ

【学びに向かう力、人間性等】工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得と理解を深めることに意欲的に取り組んでいるかどうか。

科目 簿記検定 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、製造業における諸活動を計数的に把握し、適切に処理できているかどうか。	個別原価計算・総合原価計算・標準原価計算・直接原価計算のそれぞれの特徴と適用される生産形態について自ら思考を深め、知識や技術を活用して適切な判断を行い、その成果を的確に表現できているかどうか。	工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得と理解を深めることに意欲的に取り組んでいるかどうか。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
1 学 期	製造業における原価計算と工業簿記に関する知識と技術を習得させ、理解を深めさせる。原価の概念に対する理解を深め、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てる。	・日商簿記検定3級受験にむけた学習 ・工業簿記と原価計算 製造業における簿記と原価計算 原価と原価計算	○	○	○	5
	製造業における原価計算と工業簿記に関する知識と技術を習得させ、理解を深めさせる。原価の概念に対する理解を深め、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てる。	・工業簿記と原価計算 製造業における簿記と原価計算 原価と原価計算 製造業における簿記と特色と仕組み ・原価の費目別計算 材料費の計算と記帳 労務費の計算と記帳 経費の記帳と記帳	○	○	○	6
	定期考査		○	○		1
	全国経理教育協会主催、簿記能力検定試験2級(工業簿記)の合格を目指す。	・原価の部門別計算と製品別計算 個別原価計算 原価の部門別計算 総合原価計算 工程別総合原価計算	○	○	○	6
	全国経理教育協会主催、簿記能力検定試験2級(工業簿記)の合格を目指す。	・原価の部門別計算と製品別計算 個別原価計算 原価の部門別計算 総合原価計算 工程別総合原価計算	○	○	○	7
定期考査		○	○		1	
2 学 期	製造業における原価計算と工業簿記に関する知識と技術を習得させ、理解を深めさせる。原価の概念に対する理解を深め、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てる。	・製品の完成・販売と決算 製品の完成と販売 本社・工場会計 製造業の決算	○	○	○	11
	定期考査		○	○		1
	全国経理教育協会主催、簿記能力検定試験2級(工業簿記)の合格を目指す。	・製品の完成・販売と決算 製品の完成と販売 本社・工場会計 製造業の決算	○	○	○	13
	定期考査		○	○		1
3 学 期	全国経理教育協会主催、簿記能力検定試験2級(工業簿記)の合格を目指す。	・全経簿記検定受験にむけた学習 過去問題演習	○	○	○	8
	全国経理教育協会主催、簿記能力検定試験2級(工業簿記)の合格を目指す。	・全経簿記検定受験にむけた学習 過去問題演習	○	○	○	9
	定期考査		○	○		1
	合計					70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 農業 科目 課題研究

教科: 農業

科目: 課題研究

単位数: 4 単位

対象学年組: 第3学年 1組

教科担当者: (木村 土屋 佐藤)

使用教科書: ()

教科 農業

の目標:

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指し自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	<p>課題への探究学習</p> <p>【知識及び技能】 農業と環境に関する知識を応用して理論的な研究を実践し、得られた結果から、農業生産や環境創造に関する専門的な考察をする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主体的に実験実習予定を計画し、実践することができる。また、自己で効率的な行動がとれるように思考・判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 研究テーマに対し、主体的に問題を解決しようとしていること。問題解決するために自ら調査をし、より合理的に研究に取り組む。</p>	<p>研究テーマの決定</p> <p>・テーマに沿った実習の実施</p> <p>・結果を基にPDCAを取り入れた実習の実施</p>	<p>課題への探究学習</p> <p>【知識及び技能】 農業と環境に関する知識を応用して理論的な研究を実践し、得られた結果から、農業生産や環境創造に関する専門的な考察をすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主体的に実験実習予定を計画し、実践することができる。また、自己で効率的な行動がとれるように思考・判断することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 研究テーマに対し、主体的に問題を解決しようとしていること。問題解決するために自ら調査をし、より合理的に研究に取り組むことができる。</p>	○	○	○	52
2 学 期	<p>課題への探究学習</p> <p>【知識及び技能】 農業と環境に関する知識を応用して理論的な研究を実践し、得られた結果から、農業生産や環境創造に関する専門的な考察をする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主体的に実験実習予定を計画し、実践することができる。また、自己で効率的な行動がとれるように思考・判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 研究テーマに対し、主体的に問題を解決しようとしていること。問題解決するために自ら調査をし、より合理的に研究に取り組む。</p>	<p>研究テーマの決定</p> <p>・テーマに沿った実習の実施</p> <p>・結果を基にPDCAを取り入れた実習の実施</p> <p>・中間ポスター作成</p>	<p>課題への探究学習</p> <p>【知識及び技能】 農業と環境に関する知識を応用して理論的な研究を実践し、得られた結果から、農業生産や環境創造に関する専門的な考察をすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主体的に実験実習予定を計画し、実践することができる。また、自己で効率的な行動がとれるように思考・判断することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 研究テーマに対し、主体的に問題を解決しようとしていること。問題解決するために自ら調査をし、より合理的に研究に取り組むことができる。</p>	○	○	○	52
3 学 期	<p>課題への探究学習</p> <p>【知識及び技能】 農業と環境に関する知識を応用して理論的な研究を実践し、得られた結果から、農業生産や環境創造に関する専門的な考察をする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主体的に実験実習予定を計画し、実践することができる。また、自己で効率的な行動がとれるように思考・判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 研究テーマに対し、主体的に問題を解決しようとしていること。問題解決するために自ら調査をし、より合理的に研究に取り組む。</p>	<p>研究テーマの決定</p> <p>・テーマに沿った実習の実施</p> <p>・結果を基にPDCAを取り入れた実習の実施</p> <p>・研究発表会</p>	<p>課題への探究学習</p> <p>【知識及び技能】 農業と環境に関する知識を応用して理論的な研究を実践し、得られた結果から、農業生産や環境創造に関する専門的な考察をすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主体的に実験実習予定を計画し、実践することができる。また、自己で効率的な行動がとれるように思考・判断することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 研究テーマに対し、主体的に問題を解決しようとしていること。問題解決するために自ら調査をし、より合理的に研究に取り組むことができる。</p>	○	○	○	36
						合計	
						140	

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 栽培と環境

教科： 農業 科目： 栽培と環境 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組

教科担当者： 木村

使用教科書： （ 実教出版「栽培と環境」 ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 栽培と環境 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	栽培と環境に関する課題を発見し、動物の飼育や環境に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	栽培と環境について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 栽培植物の発育・生理と栽培技術について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 栽培植物の発育・生理と栽培技術に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 栽培植物の発育・生理と栽培技術の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り</p>	<p>【指導事項】</p> <p>①作物の種類と特徴 ②作物の一生 ③播種と土壌実験 ④作物の発育と成長の調節 ⑤育苗と肥料実験 ⑥作物体内の生理作用 ⑦作物の成熟と老化 ⑧栽培技術</p> <p>【教材】 ①実教出版「栽培と環境」 ②タブレットを活用。</p>	<p>【知識・技術】</p> <p>①本時の学びについて理解している。（レポート、課題、調査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③まとめた結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート、課題）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①積極的に実習に参加している。（観察） ②課題について関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）</p>	○	○	○	26
<p>【知識及び技能】 栽培環境について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 栽培環境に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 栽培環境の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導事項】</p> <p>①土壌の役割 ②土壌の機能 ③土壌中の窒素動態 ④土壌肥沃度の管理 ⑤土壌の管理と改良 ⑥農地の生物群集 ⑦害虫と病害その防除 ⑧雑草害・鳥獣害とその防除 ⑨農業とその使用方法 ⑩総合的有害生物管理</p> <p>【教材】 ①実教出版「栽培と環境」 ②タブレットを活用。</p>	<p>【知識・技術】</p> <p>①本時の学びについて理解している。（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③まとめた結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート、課題）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①積極的に実習に参加している。（観察） ②課題について関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）</p>	○	○	○	26
<p>「葉菜類の栽培②」</p> <p>【知識及び技能】 葉菜類の栽培について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 葉菜類の栽培に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 葉菜類の栽培の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導事項】</p> <p>①～②プロジェクト学習評価・反省 ③～④プロジェクト課題再設定 ⑤～⑥プロジェクト学習計画</p> <p>【教材】 ①実教出版「農業と環境」 ②タブレットを活用し、繁殖手順、育苗等の記録する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①プロジェクト学習の意義を理解している。（レポート） ②プロジェクト学習の進め方を理解している。（レポート） ③実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ④実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ⑤各指導事項の内容を理解している。（考査）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①プロジェクト学習の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（ワークシート・レポート）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①プロジェクト学習に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②プロジェクト学習に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。（レポート） ③プロジェクト学習に関心をもち、栽培記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）</p>	○	○	○	18
						合計
						70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 飼育と環境

教科： 農業 科目： 飼育と環境 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組

教科担当者： 土屋

使用教科書： （ 海文堂出版「飼育と環境」 ）

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 飼育と環境 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
飼育と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	飼育と環境に関する課題を発見し、動物の飼育や環境に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	飼育と環境について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 <ul style="list-style-type: none"> ・飼育と環境に興味関心を持つ。 ・飼育動物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・飼育環境とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・動物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。 	「飼育動物について」 <ul style="list-style-type: none"> ・飼育動物の分類 ・飼育管理について ・飼育環境の整備 ・飼育動物の生態について 	【知識及び技能】 飼育と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育と環境に関する課題を発見し、動物の飼育や環境に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育と環境について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	26
2 学期 <ul style="list-style-type: none"> ・導入動物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・導入動物とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・アニマルウェルフェアを考慮した飼育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。 	「生態を考慮した飼育環境について」 <ul style="list-style-type: none"> ・導入動物の生態の理解 ・導入動物の飼育環境の改善 ・導入動物についての発表 ・アニマルウェルフェアについて 	【知識及び技能】 飼育と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育と環境に関する課題を発見し、動物の飼育や環境に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育と環境について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	26
3 学期 <ul style="list-style-type: none"> ・飼育と環境とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 	・・アニマルウェルフェアを考慮した実践	【知識及び技能】 飼育と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育と環境に関する課題を発見し、動物の飼育や環境に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育と環境について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	18
						合計
						70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 生物活用

教科： 農業 科目： 生物活用 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組

教科担当者： 梅田 成治

使用教科書： （『生物活用』実教出版）

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 生物活用 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
園芸作物や家畜等の活用に必要な知識を身に付けるとともにそれらに必要な技術を得得する。また、園芸作物や家畜等の利用方法を身に付ける。	生物活用を多面的に考察し、環境に及ぼす影響等を適切に判断する。また、今後の地域等とのかわりについて判断する能力を身に付ける。	生物活用に興味・関心をもち、生物と活用の相互関係から総合的・体系的に理解する意欲と態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・生物活用の意義と役割を理解するとともに、プロジェクト学習の進め方と適切な課題設定を行う。 ・プロジェクト学習の実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物活用の意義と役割 ・生物活用とプロジェクト学習 ・羊の飼養と放牧 	<p>【知識及び技能】 生物活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物活用に関する課題を発見し、農業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物活用について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。</p>	○	○	○	26
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・草地管理及び動物の飼育と活用について理解する。 ・プロジェクト学習の実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・草地管理と放牧 ・羊の飼養と放牧 ・採食調査と嗜好性調査 	<p>【知識及び技能】 生物活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物活用に関する課題を発見し、農業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物活用について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。</p>	○	○	○	26
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト学習の実践を行った結果を踏まえて、交流活動を実施し、成果を公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場分析と採食量調査 ・交流活動の立案 ・成果発表のポスター制作 	<p>【知識及び技能】 生物活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物活用に関する課題を発見し、農業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物活用について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。</p>	○	○	○	18
							合計
							70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 家庭 科目 生活と福祉

教科: 家庭 科目: 生活と福祉

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 組～

教科担当者: (1組:大村) (組) (組) (組) (組) (組) (組)

使用教科書: (なし)

教科 家庭

の目標:

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域社会における生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 生活と福祉

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高齢者福祉に関する法規や制度・サービスについて理解させ、介護予防の考え方にともづき、自立生活支援と介護に関する基礎的な知識と技術を身につける。	高齢期にいたるまでの健康づくりについて考えさせるとともに、ライフステージごとの健康管理について、具体的な事例を通して理解する。	地域の高齢者の生活に関心をもち、高齢者と積極的にいかかわり、適切な生活支援や介護ができた、福祉の充実、向上をめざしたりすることのできる能力と実践的な態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学 期	健康と生活 【知識及び技能】 健康と生活について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 健康と生活について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 健康と生活について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	・高齢者とは ・ベッドメイキング ・体位変換とボディメカニクス ・車いす ・視覚障害者の生活理解と点字 ・施設実習（特別養護老人ホーム）	【知識及び技能】 健康と生活について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 健康と生活について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康と生活について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	高齢者理解・障害者理解 【知識及び技能】 高齢者理解・障害者理解について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者理解・障害者理解について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者理解・障害者理解について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	・高齢者とは ・ベッドメイキング ・体位変換とボディメカニクス ・車いす ・視覚障害者の生活理解と点字 ・施設実習（特別養護老人ホーム）	【知識及び技能】 高齢者理解・障害者理解について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者理解・障害者理解について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者理解・障害者理解について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	高齢者や障害者の自立生活支援と介護 【知識及び技能】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	・高齢者とは ・ベッドメイキング ・体位変換とボディメカニクス ・車いす ・視覚障害者の生活理解と点字 ・施設実習（特別養護老人ホーム）	【知識及び技能】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
定期考査				○	○		1
2 学 期	高齢者や障害者の自立生活支援と介護 【知識及び技能】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	・入浴と清潔 ・発達障害理解と対策 ・インクルーシブ教育 ・介護実習（着替え・食事） ・視覚障害者の生活理解と点字 ・施設実習（デイサービスセンター）	【知識及び技能】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者や障害者の自立生活支援と介護について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	高齢者・障害者福祉の制度とサービス 【知識及び技能】 高齢者・障害者福祉の制度とサービスについて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者・障害者福祉の制度とサービスについて課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者・障害者福祉の制度とサービスについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	・入浴と清潔 ・発達障害理解と対策 ・インクルーシブ教育 ・介護実習（着替え・食事） ・視覚障害者の生活理解と点字 ・施設実習（デイサービスセンター）	【知識及び技能】 高齢者・障害者福祉の制度とサービスについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者・障害者福祉の制度とサービスについて課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者・障害者福祉の制度とサービスについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	生活支援サービスと介護の実習【知識及び技能】 生活支援サービスと介護の実習について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 生活支援サービスと介護の実習について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生活支援サービスと介護の実習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	・入浴と清潔 ・発達障害理解と対策 ・インクルーシブ教育 ・介護実習（着替え・食事） ・視覚障害者の生活理解と点字 ・施設実習（デイサービスセンター）	【知識及び技能】 生活支援サービスと介護の実習について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生活支援サービスと介護の実習について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活支援サービスと介護の実習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
定期考査				○	○		1
3 学 期	生活支援サービスと介護の実習【知識及び技能】 生活支援サービスと介護の実習について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 生活支援サービスと介護の実習について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生活支援サービスと介護の実習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	・聴覚障害理解と手話 ・視覚障害者の生活理解と点字 ・施設実習（障害者センター）	【知識及び技能】 生活支援サービスと介護の実習について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生活支援サービスと介護の実習について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活支援サービスと介護の実習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 家庭 科目 調理

教科：家庭 科目：調理 単位数：3 単位
 対象学年組：第3学年 1組～ 組
 教科担当者：（1組：濱田）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（調理BOOK/実教出版）

教科 家庭 の目標：
 【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を発見して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通じて生活の課題を解決する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、よりよき社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
調理の基礎について理解させ、様式別調理と目的別の調理について献立を作成して調理ができるようにするとともに、大量調理などに関する知識と技術を身につけるようにする。	健康の維持・増進を進める上での食生活の課題を発見し、生活産業を担う職業人として、調理を通して合理的・創造的に解決する力を養う。	人々の健康の維持・増進に寄与する食生活の充実向上を図るとともに、創造的に調理する能力と実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	・調理の目的を理解させる。 ・代表的な食品の調理上の性質、加熱操作、非加熱操作などの調味操作の方法と特徴を理解させる。	調理の基礎	【知識・技能】食品の特性と調理の基本知識、調理の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理を科学的にとらえ、おいしさを諸要因と関連づけ思考し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技術の向上・発展に意欲的である。	○	○	○	6
	・性別、年齢、生活活動などに応じた適切な献立の作成ができるようにする。	献立作成	【知識・技能】目的や対象に応じた献立が作成できる。 【思考・判断・表現】健康の維持増進に配慮し、合理的創造的に工夫できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食生活の充実向上に意欲的、実践的な態度である。	○	○	○	5
	・日本料理、西洋料理、中国料理、その他の料理について、代表的な料理の特徴と献立構成の基本を理解させる。 ・目的や条件に応じた献立作成と調理ができるようにする。 ・様式別の食事提供ができる力を養う。	様式別の献立と調理	【知識・技能】様式別料理の特徴を理解し、献立作成と調理の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】目的や条件に応じて献立作成を工夫し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】様式別料理の特徴を理解した上で、食文化を伝承し創造していくことに意欲的である。	○	○	○	23
	・大量調理に当たっての留意事項を理解させる。 ・大量調理を円滑に運営する上で必要な食品管理、調理作業管理について理解させると共に、自覚と責任を養う。	大量調理	【知識・技能】大量調理の管理運営や調理にあたる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】大量調理運営を円滑に行うため、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】大量調理担当者としての自覚と責任をもって、意欲的に大量調理に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	3
定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2	
2 学期	・調理の目的を理解させる。 ・代表的な食品の調理上の性質、加熱操作、非加熱操作などの調味操作の方法と特徴を理解させる。	調理の基礎	【知識・技能】食品の特性と調理の基本知識、調理の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理を科学的にとらえ、おいしさを諸要因と関連づけ思考し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技術の向上・発展に意欲的である。	○	○	○	4
	・日本料理、西洋料理、中国料理、その他の料理について、代表的な料理の特徴と献立構成の基本を理解させる。 ・目的や条件に応じた献立作成と調理ができるようにする。 ・様式別の食事提供ができる力を養う。	様式別の献立と調理	【知識・技能】様式別料理の特徴を理解し、献立作成と調理の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】目的や条件に応じて献立作成を工夫し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】様式別料理の特徴を理解した上で、食文化を伝承し創造していくことに意欲的である。	○	○	○	21
	・大量調理に当たっての留意事項を理解させる。 ・大量調理を円滑に運営する上で必要な食品管理、調理作業管理について理解させると共に、自覚と責任を養う。	大量調理	【知識・技能】大量調理の管理運営や調理にあたる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】大量調理運営を円滑に行うため、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】大量調理担当者としての自覚と責任をもって、意欲的に大量調理に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	12
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
	・日本料理、西洋料理、中国料理、その他の料理について、代表的な料理の特徴と献立構成の基本を理解させる。 ・目的や条件に応じた献立作成と調理ができるようにする。 ・様式別の食事提供ができる力を養う。	様式別の献立と調理	【知識・技能】様式別料理の特徴を理解し、献立作成と調理の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】目的や条件に応じて献立作成を工夫し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】様式別料理の特徴を理解した上で、食文化を伝承し創造していくことに意欲的である。	○	○	○	16
	・大量調理に当たっての留意事項を理解させる。 ・大量調理を円滑に運営する上で必要な食品管理、調理作業管理について理解させると共に、自覚と責任を養う。	大量調理	【知識・技能】大量調理の管理運営や調理にあたる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】大量調理運営を円滑に行うため、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】大量調理担当者としての自覚と責任をもって、意欲的に大量調理に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	6
	・料理を提供する上では、食事環境とサービスが重要であることを理解させ、サービスの向上を図る態度を養う。	食事環境とサービス	【知識・技能】料理を提供する上で必要な知識技能を身につけている。 【思考・判断・表現】料理を提供するTPDに合わせて、食事環境とサービスについて工夫できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食生活の充実向上に、意欲的、実践的な態度である。	○	○	○	3
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
					合計	105	

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 家庭 科目 フードデザイン

教科: 家庭 科目: フードデザイン 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第3学年 2組～ 組
 教科担当者: (2組: 大村) (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: (フードデザイン)教育図書

教科 家庭 の目標:
 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に授え、家庭・家族の意義、家庭・家族と社会との関わりについて理解を深め、家庭・
 【知識及び技能】家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を深めるとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生産を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 フードデザイン の目標:	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける。	食生活全般に関する課題を発見することができる。栄養、食品、調理等を体系的にとらえた上で、充実した食生活を総合的にデザインし、表現できる。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて関心をもち、主体的・協働的・積極的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	食事の意義と役割、食を取り巻く現状について、日常生活と関連づけて理解する。	・健康と食生活	【知識・技能】食事の意義と役割、食を取り巻く現状について、各種データを分析理解している。 【思考・判断・表現】各種データを分析思考し、その内容を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】食を取り巻く現状に関心を深め、問題意識を持っている。	○	○	○	2
	各栄養素の種類と栄養的な意義について理解する。さまざまな食品について、特徴とその調理性、加工について理解した上で、調理に活かせる。	・栄養素・食品の特徴	【知識・技能】五大栄養素の働きと、各食品に含まれる栄養素を理解している。食品の特徴と調理性を理解している。 【思考・判断・表現】食品の調理性を実際の調理における現象と合わせて思考し、レポートに正しく表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食品の調理性の理解と活用に着眼的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	調理及び調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理操作	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技能の向上に意欲的である。	○	○	○	6
	・食品の調理性をふまえた、適切な調理ができるようになる。 ・食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができるようになる。 ・各料理に合わせた盛りつけや、目的に合った食卓を整えることができる。	・調理実習	【知識・技能】食品の調理性をふまえた適切な調理技能を身につけている。各料理に合わせた盛りつけができる。 【思考・判断・表現】食品の調理性や食品衛生を考えた上で適宜判断し、調理しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理実習に着眼的に取り組んでいる。	○	○	○	12
定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2	
2 学 期	さまざまな食品について、特徴とその調理性、加工について理解した上で、調理に活かせる。	・食品の特徴	【知識・技能】食品の特徴と調理性を理解している。 【思考・判断・表現】食品の調理性を実際の調理における現象と合わせて思考し、レポートに正しく表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食品の調理性の理解と活用に着眼的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理操作	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技能の向上に意欲的である。	○	○	○	4
	調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理実習	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技能の向上に意欲的である。	○	○	○	16
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
3 学 期	さまざまな食品について、特徴とその調理性、加工について理解した上で、調理に活かせる。	・食品の特徴	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技能の向上に意欲的である。	○	○	○	4
	献立を作成するための留意点を理解し、望ましい献立作成ができる能力を身につける。	・献立作成	【知識・技能】栄養バランスや味の調和がとれた弁当献立を立て、調理ができる。 【思考・判断・表現】年齢、性別に合わせて、栄養バランスを考慮した弁当献立を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】弁当献立作成に意欲的である。	○	○	○	4
	調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理実習	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技能の向上に意欲的である。	○	○	○	8
	定期考査	筆記試験 実技試験					2
				○	○		合計 70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 家庭 科目 保育基礎

教科：家庭 科目：保育基礎 単位数：2 単位
 対象学年級：第3学年 2組～3組
 教科担当者：（2組：大村）（3組：大村）
 使用教科書：（保育基礎／愛教出版）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる論理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要となる人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 保育基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的にかつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	想	配当 時数	
・保育の意義と重要性について、幼稚園保育や保育施設保育を取り上げながら、保育が人間形成にどのような役割を担っているかを考える。	1 第 子どもの保育 2 保育の意義 3 保育の役割	・保育者の役割を理解し、その資質や能力を身につけるにどのような気をつけていけばよいかを、考察ができる。	○	○	○	2
・保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのような方法があるかを、保育者観についての考察を促める。	1 第 子どもの保育 2 第 保育の方法 3 第 保育者の役割とは 4 一人ひとりに合わせた指導	発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。	○	○	○	2
・家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所、認定こども園など）の保育環境の特徴や役割を理解する。	1 第 子どもの保育 2 第 保育の環境 3 第 家庭での保育 4 第 幼児教育・保育の場 5 第 子どもが育つ環境の変化と課題	・子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を生じることや理解し、発達段階における発達課題に応じて、接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について述べている。	○	○	○	2
・乳幼児期は人の発達において大切な時期であり、非認知能力の重要性といった特性があることを理解する。	2 第 子どもの発達 3 第 子どもの発達の特性 4 第 発達と保育 5 第 発達の共通性と個別性	・幼児の保育環境である母体に対する関心と理解を深め、乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている。	○	○	○	2
・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴を、新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。	2 第 子どもの発達 3 第 子どものからだの発達 4 第 発達の評価 5 第 身体的特徴	・誕生から幼児期までの子どもの身体発達、運動機能、認知機能などそれぞれの発達の特性について理解している。	○	○	○	7
・心の発達の上位として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。	2 第 子どもの発達 3 第 子どもの心の発達 4 第 社会・情緒的な発達 5 第 知的発達 6 第 言葉の発達	・子どもの心の発達の特徴と発達の経過について理解している。 ・人間関係の発達については乳幼児期の愛着の発達が必要であり、安全基地を基盤として人間関係が広がっていくことを理解している。	○	○	○	7
・誕生～乳児期、幼児期の発達の過程を、それぞれの月齢・年齢ごとの発達に沿った子どもの姿を通して理解する。	2 第 子どもの発達 3 第 月齢、年齢別の発達・発達	・それぞれの月齢・年齢ごとの身体的・生理的特徴に関心をもち、保育に関連づけて考察することができる。	○	○	○	3
定期考査	・筆記試験		○	○	○	1
絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達にどのような関わりを持つか、その意義について理解する。	4 第 子どもの文化 5 第 子どもの文化の意義と支え	子どもの文化の意義を理解し、それらの役割や今後の課題について考察することができる。	○	○	○	2
・子どもの遊びも遊具や表現活動の経験や重要性など、遊具を通して理解する。 ・遊びにおける保育者の働きかけを、遊びの環境からどのように考える。	4 第 子どもの文化 5 第 子どもの遊びと表現活動 6 第 遊具と発達 7 第 遊びと表現活動	・遊びを通して子どもが豊かに発達することについて理解している。 ・子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組み、子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけている。	○	○	○	6
・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 ・乳幼児期の栄養や食事の特徴を学習して理解する。 ・子どもの衣生活について、身体特徴をふまえて、安全で健康的な生活するために何が必要かを理解する。	3 第 子どもの生活 4 第 子どもの生活と健康 5 第 生活と健康 6 第 栄養と食事 7 第 衣生活	・子どもの生活に関心をもち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている。 ・子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。	○	○	○	7
・基本的生活習慣と社会的生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその奨励について考察する。	3 第 子どもの生活 4 第 子どもの生活習慣の形成 5 第 子どもの生活習慣 6 第 基本的生活習慣 7 第 社会的生活習慣	・子どもが生活習慣を身につけるための奨励の方法について思考を促している。	○	○	○	6
・子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや原因などを理解する。 ・子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要かを理解する。	3 第 子どもの生活 4 第 健康管理と事故防止 5 第 子どもの健康管理 6 第 事故防止と応急処置	・子どもの健康状態を見るときポイントや病気の兆候、予防接種について理解している。 ・子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考察することができる。	○	○	○	4
定期考査	・筆記試験		○	○	○	1
・子どもは国や地域、時代によって変じていることを理解する。 ・時代の変化と共に子どもが権利の主体として尊重する考え方が世界で共有されつつあることを理解する。	5 第 子どもの福祉 6 第 子ども観 7 第 子ども観の変遷 8 第 権利の主体としての子どもへ	・子ども観の変遷や、権利の主体として尊重されつつある状況を理解している。	○	○	○	6
・子どもの福祉に関心をもち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。 ・児童福祉や児童の権利に関する条約を通して児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考える。	5 第 子どもの福祉 6 第 子どもの福祉 7 第 児童福祉 8 第 子どもとよりよく関わりと対策 9 第 子どもが育つ社会環境	・児童福祉の基本的な考え方について理解し、子どもの福祉について自分の意見や考えをまとめることができる。	○	○	○	6
・子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解する。また、子育て支援の今後の課題と展望について考察する。	5 第 子どもの福祉 6 第 子育て支援 7 第 子育て支援からパートナーシップへ 8 第 社会的養育 9 第 地域の子育て支援	・児童福祉の現状と対策について自分の考えを述べている。 ・子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考察している。	○	○	○	5
定期考査	・筆記試験		○	○	○	1
						70

